



緑の園



3月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより



第117号

令和8年3月1日発行

Led Zeppelin/The Song Remains The Same(1976)

## 今日から3月弥生。新しい出会いのための準備が始まります。

すっかり暖かくなりました。

3月はすべての草木が春の陽気に恵まれて生い育つという意味から「弥生」と呼ばれるそうです。



女の子の名前でも個人的にはかわいらしさを感じますが、女の子のネームランキングでは華やかな漢字が上位にランクインしているのが今時なので、この感覚はやっぱり昭和的な感情なんだろうなと思ってしまいます。

さて、この3月当法人の令和8年度事業計画、予算案をご審議いただく第5回理事会が16日(月)に、同じく第4回評議員会が30日の月曜日に開催される予定となっております。

今年は介護報酬の臨時改訂があるものの施設運営にとって安定的な増額でもなさそうなので従来通り施設運営に関しての厳しい状況には何ら変化はありません。

施設運営に携わる者としていたしましては介護報酬を上回るほどの値上げが続く中、厳しい一年が始まることに際しまして不安ばかりが募っております。しかしながらまだまだ不十分ながらも人材が整い始めたというとても大きな光明があります。

新しく迎える職員につきましては4月の施設だよりでお知らせする予定です。

令和7年度は法人にとっても私個人にとってもつらく、試練の一年でした。



次から次に表出する課題に対処してきた私たちの時間は解決たか否かにかかわらず、静かにも確実に流れています。



時間の概念の中で昨日があり、今日があり明日があります。

刻々と時を重ね変わっていく日々であって輝く時間があるとすれば愛おしさだったり感謝の気持ちが生じる瞬間なのかもしれません。皆さん来年度もどうぞよろしく願いいたします。(おばら)



## 先月の出来事を紹介いたします。

先月は節分の豆まきをそれぞれの事業所で行いました。

ヒルトップハイツでは1月に発生した新型コロナウイルス感染症の対応で時期がずれてしまいましたが18日の水曜日に行いました。



感染症対応でご利用者の皆さんストレス発散とばかりに2人の鬼に豆をいっぱいぶつけておられました。

打ち合わせで私は豆をぶつけられている鬼の仲間を救うという設定でしたが所要のため救助に行けず最初に出ていった鬼がやられっぱなしとなってしまいました。

デイサービスでは3日と5日、緑の園では1月28日にグリーンでは1月19日に行いました。

私は今年もそれぞれの施設で鬼の役を仰せつかりましたが、今年も例年どおり皆さんに元気よく豆をぶつけられました。



そのほかの行事としまし

ては5日にグリーンプラザと緑の園で、衆議院議員総選挙不在者投票を施設内で実施いたしました。

ヒルトップハイツでは4日に不在者投票に行ってきました。

なお、ヒルトップハイツにおきましては26日に夜間想定避難訓練を実施しております。(緑の園とグリーンプラザは3月4日に実施予定です)

2月は短い月ですが中身は普通の月と特に変わらないので、なんだかとても忙しい1カ月でした。(おばら)



### 今月の予定を紹介します。



3月に予定されている行事を紹介いたします。

今月は桃の節句でおひな祭りがあります。関連したお茶会等をそれぞれの施設で行う予定です。

今月はお彼岸ということもあ17日の彼岸入りにおはぎをいただけることになっております。

3月は季節の行事が中心です。暖かい春に向けての準備の1か月、ぬくもりのある穏やかな日差しを感じながら心地よい陽気で存分に転寝しましょう。(?)



### 職員募集のお知らせ



社会福祉法人丸瀬布社会福祉協会ではそれぞれの施設で以下の職員を募集しております。

人を支える仕事である私たち法人をぜひお支えいただきたく心よりお願い申し上げます。



※令和8年2月24日現在の募集内容

#### ・特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ

看護職員 1名

#### ・地域密着型特別養護老人ホーム グリーンプラザ

介護職員 2名

#### ・養護老人ホーム緑の園

支援員(介護職員) 1名

#### ・丸瀬布デイサービスセンター

介護職員(パート) 1名



それぞれの職種にしましてお申込みいただける方がおられましたら特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツまでご連絡いただきたく存じます。(0158-47-3001)



今月もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、個人的な話題で恐縮ですがご利用者さん数人とある時お話ししておりました。その中にいたAさんが唐突に私は〇〇なことがあってホント不幸だったわ…。

と、言い出しました。それを聞いていたBさんが続けざまに、私なんて△△だったのよつらかったわ…。と不幸のアカウントを取ってきます。

私はそれぞれのお話しに対してそうなんですか、それはつらかったですね。とか相槌を打っていました。

Cさんも後を追って家族とのおわかれのお話しまで出てきてしまい、そうなの?それはつらかったわね、等と「不幸自慢」の様相を呈してきました。

皆さん「私なんて…」と話し出すのでなんとなくそう思ってしまいましたが、最後になって私がどなたが一番つらそうでしたかねえ、って不謹慎な質問を試みたら明確に誰とはなりませんでした。(当たり前か…。)

皆さんトップグオブ不幸の座にはつけませんでした。がけっこう盛り上がったと記憶しています。



私はこの仕事に就いてから40年が経とうとしています。

このような他愛のない会話の積み重ねが今の私を作り上げたんだと思います。現場で15年、経理で15年、そして現在のポジションに就いて10年たくさん勉強をさせていただきました。本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひします。(おばら)

2月2